

## 自然休養林情報

### 協力金の使用実績を公表

屋久島自然休養林において平成8年度までにご協力いただいた森林環境整備推進協力金の使用実績（ヤクスギランドは平成5年度から、白谷雲水峡は平成8年度のみ合計）を、このほど自然休養林の入口に掲示しました。

この間の協力金の合計は7,919万3千円で、主な使途は遊歩道の改良・パンフレット・清掃・協力金徴収委託等です。



ご協力ありがとうございました。  
今後ともご協力をお願いいたします。

森林軌道に関して熊本営林局は「森林軌道は営林署の事業施設であって登山者の安全確保まで念頭に置いて整備されたものではない」とことから、以下のとおり要請しました。

① 荒川林道からの登山者に対処するため環境庁、鹿児島県、屋久町等に対し軌道を使用しない新ルートを早急に開設することを求める。  
② 環境庁、鹿児島県に対し、



夏山シーズンを前に、本年二回目の協議会が七月八日開催され、荒川口での監視指導や新たな清掃登山の実施などが決定されました。また、熊本営林局（屋久島営林署）から、かねてから問題となっていた森林軌道の登山者の通行について問題解決に向けた関係機関の早急な対応を要請しました。

## 熊本営林局から縄文スギの新登山ルート開設を要請

### 屋久島山岳部利用対策協議会開催

償で提供する考えである。

また、夏休みにおける対策について以下の事項が決定されました。

- ・リーフレットの作成・配布
- ・ポスターの作成・掲示
- ・ゴミ持ち帰りキャンペーンの実施（ゴミ袋の配布）
- ・荒川口での監視指導員の配置（720 ～ 824）
- ・縄文スギでの自主的監視
- ・夏休み後の清掃登山（9/4）

### 縄文杉展望デッキへの立入禁止看板を設置

#### 立入禁止看板を設置

縄文スギの展望デッキ下は土壌の流出防止などの理由から立入禁止となつていますが雨天の時などに登山者の立入りが見られ改善が求められていました。

そこで保全センターでは、デッキの三箇所立入禁止の看板を設置して登山者に啓発するとともに、森林植生保護

の一環として協力を呼びかけることとしました。看板は縦五〇cm×横二〇cmの板に赤字で「展望デッキ下立入禁止」と表示してあります。

### 屋久島国有林で新しい森林評価手法の調査を実施

#### 評価手法の調査を実施

林野庁では屋久島の国有林について森林の立木・土地等の経済的価値に、これまでに評価されなかった治山治水・景観・文化財・生物多様性等の公益的機能を含めて貨幣的価値に評価する新しい手法の

## 屋久島の植物



ノリウツギ (ゆきのした科)

高さ5m程の落葉低木。伐採跡地にまず初めに出現する先駆樹種の一つ。花序が円錐状であることが目立った特徴で、初めは白色だが後に淡紅色または淡緑色に変わり、枯れた花序は翌年まで枝上に残り葉のない冬でも識別できる。県道屋久島公園線、安房林道沿いに白い花を咲かせている。

### 黒味岳年間雨量

5045 mm



保全センターでは、貴重な森林の保全と山地災害防止のために、島内に平成七年度から順次雨量計を設置し観測を行つていきます。

昨年の五月、最後（七箇所目）に設置した黒味岳の雨量

計のデータが一年間を通して集計でき、他に比べて意外と少ない結果となりました。

他の箇所での同期間のデータと併せて裏面に掲載します。大川林道など四箇所には一部欠測期間があります。

### 「荒川橋」工事着工に伴う一部通行止

自然休養林ヤクスギランドにおいて、

昨年度の沢津橋架替に引続き、今年度は荒川橋の架替工事を、開始しました。

工事期間中は、歩道の一部を通行止とすることがありますので、ご協力をお願いいたします。

詳しい工事概要は、裏面に記載してあるので参考にしてください。



# 雨量計観測データ一覧表

観測点	平成8年						平成9年						計
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
黒味岳山頂	912.0	697.0	1246.5	312.5	215.0	163.0	123.0	128.5	359.0	350.0	498.5	640.0	5645.0
大川林道	915.5	578.5	146.5	11.0	187.5	296.0	197.5	151.0	417.5	364.0	507.0	770.5	4542.5
淀川登山口	1291.5	1034.0	1832.0	210.5	316.0	306.0	237.5	223.0	21.0	0.0	78.5	1360.0	6910.0
保全センター	510.0	598.0	631.5	7.0	224.5	174.5	168.0	205.0	251.5	209.0	239.0	587.5	3805.5
白谷	900.5	1049.5	2160.5	373.0	343.0	259.0	223.5	379.0	327.0	315.5	319.5	1100.5	7750.5
小杉谷	1012.5	947.5	2145.5	0.0	361.5	315.0	276.5	242.5	394.0	376.5	363.0	1249.5	7684.0
宮之浦林道	793.0	1155.5	2057.0	312.5	277.0	339.5	275.0	176.5	343.5	333.0	385.0	973.0	7420.5

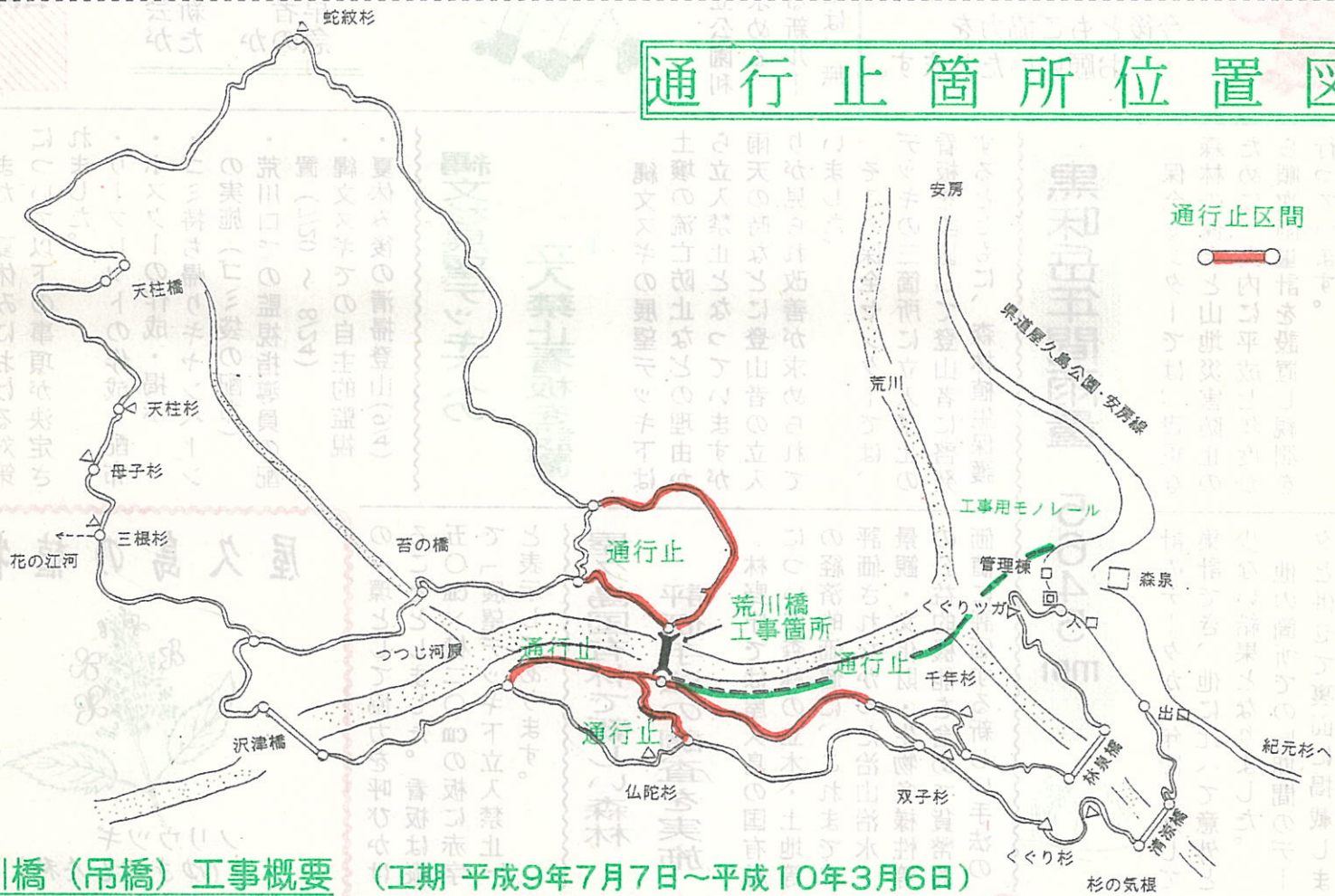
欠測期間	大川林道	平成8年10月2日～11月10日	小杉谷	平成8年10月1日～11月1日
	淀川登山口	平成8年10月23日～31日 平成9年3月7日～5月22日	保全センター	平成8年7月13日～17日 平成8年10月3日～11月10日

雨量計設置箇所	標高
①屋久島森林環境保全センター	20m
②白谷雲水峡入口	560m
③宮之浦林道33支線	500m
④小杉谷事業所跡	680m
⑤大川林道12支線	1020m
⑥淀川登山口	1380m
⑦黒味岳頂上付近	1800m

(設置箇所位置図)



## 通行止箇所位置図



### 荒川橋 (吊橋) 工事概要 (工期 平成9年7月7日～平成10年3月6日)

ヤクスギランドの入口から荒川本流を約0.8kmさかのぼった標高980mに位置する荒川橋は、ワイヤーロープ・ボルト・床板等の老朽化が進行していることから、歩行者の安全確保及び自然景観に配慮するため、次のような工法で架替工事を施工します。

吊橋の長さは34m、巾は1m、吊橋の床板部分は防腐処理を施したヒノキ材を使用し、吊橋への取り付け歩道として右岸に10m左岸に10mの杉材を使用した棧道を設置します。

吊橋を支える橋台等は、コンクリート自体の重量で支える重力式と地中にアンカーを埋設して支えるアンカー方式がありますが、沢津橋と同様にアンカー方式を採用しました。この工法により床堀量、埋め戻し量が少なく済むため、土工による植生・土壌への影響を必要最小限に抑えることができます。

吊橋の鋼材等については、主にワイヤーロープを使用し亜鉛メッキ仕上げとしますが、手摺りロープについてはビニール被覆を施し、塔柱等については塗装仕上げとします。これは自然休養林の景観に配慮し、周囲の自然との調和を図るためです。

また、現地での工事材料等の運搬にはモノレールを使用しますが、林内散策の歩行者に影響を与えないために荒川の谷沿いに配置し、工事期間中の通行止め区間を少なくなるよう配慮しています。

しかしながら上記図のとおり工事期間中歩行者の安全確保のため、平成9年9月1日～平成10年3月6日までの間通行止めの予定としておりますので、ご協力をお願いします。

詳細については、保全センターまでおたずね下さい。